

～INNOVATION ON CONTINUOUS FLOW CHEMISTRY～

味の素オムニケム社 ベルギー・ウェッテレン工場のご紹介

当社は、中期ASV経営2030ロードマップにおいて、アミノサイエンス®の強みを活かした4つの成長領域を掲げております。ヘルスケア領域はその1つとなり、具体的には、医薬品開発製造受託（CDMO）事業や、医薬用・食品用アミノ酸事業等になります。今回は、ベルギーに拠点を置き、医薬や農業資材といった幅広い領域に向けた原料の製造・販売を行う味の素オムニケム社から、ウェッテレン工場を紹介します。

味の素オムニケム社のベルギー・ウェッテレン工場では、「AJI-Bio Pharma Service」というブランドのもと、世界の主要な製薬会社様より医薬品の有効成分である原薬の受託製造を行っております。

味の素オムニケム社は、持続的な競争優位性の確保に向けて、自社技術のみに留まらず、協力会社との強固なネットワークも構築しながら、技術革新を図ることで、市場から高い信頼を獲得しております。

今回、低分子医薬の連続フロー生産※1)の自動化において、モジュラー・タイプ・パッケージ（MTP）※2)と呼ばれる技術の概念実証※3)を行いました。この技術により、溶剤、試薬、エネルギーを削減し、より持続可能な方法で医薬品有効成分を製造することができるようになります。このコンセプトは柔軟な拡張性を特長としており、新しいビジネスの創造に向けて、将来への準備を進めております。この新しい取組を実現するにあたっては、外部の協力会社であるベッコフ社とコパデータ社の全面的な協力を得て進めております。

味の素オムニケム社と、協力会社のベッコフ社が、モジュール式プラントの自動化についてのビジョンをお伝えしている動画を是非ともご覧ください。

※1)連続フロー生産:原料を連続的に投入し生成物を得る方法。エネルギー生産性や安全性に優れ、廃棄物も少なく抑えることができる。

※2)モジュラー・タイプ・パッケージ(MTP): 機能を独立した単位に分割するモジュール化技術により、わずかな工数で柔軟にプラントを設計、最適化できるシステム。

※3)概念実証:新しい手法やアイデアの実現可能性を試作開発に入る前に検証するための取り組み。

【↓画像をクリックするとリンク先動画に移ります】



参考

味の素オムニケム社 公式サイト: <https://www.ajinomoto-omnicem.com/>

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2023年度の売上高は1兆4,392億円。世界34の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2024年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先：investor_relations@asv.ajinomoto.com